

どうなる！松戸市の大型事業が軒並み計画見直しの不思議 その2

ゴミ焼却施設完成が5年遅れに

令和3年3月議会の開催にあたって、本郷谷市長は新しいゴミ焼却場建設を2年間後倒しする案を公表しました。本来であれば令和17年のスタートを見込んで準備が進められてきたはずですが、大幅な見直しをするとの考えです。その理由としては、新しいゴミ焼却施設は、近隣他市からのゴミの受け入れも視野に入れて、広域化の道を探りたいというものです。そのための調査研究に、およそ2年間が必要だと言います。

しかしながら不思議なのは、そのための研究費用や調査費用に関する予算が、4月からスタートする令和3年度の予算に計上されていないことです。このような大きな計画見直しをするのであれば、事前にしっかりと準備を進め、計画の基盤をつくり、1年ごとの動きを予算に

反映させることで、市民の理解を求めていくべきでしょう。そして、議決された予算にもとづいて、修正する行政計画を具体的に示さなければ、変更案が妥当かどうか判断できません。ゴミ処理機能は、生活に欠かせないインフラです。それに対してこのようないい加減な施策の進め方に不信感を抱いています。



大きく注目される相模台構想

前号で、市が市庁舎の移転とともに大開発を計画している「相模台構想」について解説しました。イトーヨーカドー松戸店の裏側にあたるエリアを、国の官舎払下げを受けつつ大規模開発を行う案に、3月議会を経てさらに大きな注目が集まっています。

この計画にたいしては、市議会の各政党・各会派の考えや評価が大きく異なります。いわゆる保守系の会派間にも、現時点では同構想への判断には温度差があります。二つだった保守系会派は、3月議会終了後に3会派へと構成変更がなされ、今後さらに意見の調整が難しくなることが予想されます。

加えて、保守系会派と公明党会派の考えが、いわば正反対であることが明確になったことも、相模台構想の行方を推測しにくくしました。どちらかという消極的な保守系にたいして、積極的な推進を望む公明党会派。左派系の会派の意向いかんによって、とても不安定な状況も想定され、本郷谷市長にとっては難しい舵取りとなるかもしれません。



みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部

HPもご覧ください！ **みのわ 信矢** **検索**

連絡先 松戸市金ヶ作418-94